

平成29年度 作業班長 試験問題

I 一般教養編

会社名		受験者氏名	
-----	--	-------	--

番号	問題	解答
1	<p>次の文章は、仕事の教え方について記述したものである。□欄に適切な字句を下から選び番号で記入しなさい。</p> <p>監督者は、自分がどんなに知識や□Aが優れていても、それを上手に分かりやすく納得のいくように部下に伝える能力、すなわち教える技術を備えていなければならない。</p> <p>部下に対する□Bは、監督者の□Cの一つであって、日常普段の重要な□Dであることを自覚することが肝要である。</p> <p>①仕事 ②訓練 ③技能 ④責務 ⑤関係 ⑥信頼</p>	<p>34</p> <p>A- 3 B- 2 C- 4 D- 1</p>
2	<p>次の文章のうち適切なものには○を、適切でないものには×をしなさい。</p> <p>地域住民の要望、苦情の申し入れに対しては次の事項に心掛ける。</p> <p>(1) 内容を良く聞き、誤解のないようにする。 (2) 簡単にできることは後で処理すればよい。 (3) 直ちに処理できないことは上長の指示を仰ぎ速やかに対処する。 (4) 筋違いの苦情であっても誤解を解くよう説明する。 (5) 誤解を受けたときは放置せず、理解を得るように努める。 (6) 簡単にできることは引き受けないようにする。</p>	<p>26</p> <p>(1)- ○ (2)- × (3)- ○ (4)- ○ (5)- ○ (6)- ×</p> <p>2. 直ちに処置 6. 心よく協力</p>
3	<p>次の文章の□欄に適切な字句を下から選び番号で記入しなさい。</p> <p>(1) 工事が終了したら、使用した道路、橋梁は、くまなく点検し□Aを要する箇所は完全に元に戻す。</p> <p>(2) 食料品代金をはじめ地元作業者の□B、車両修理代・ガソリン代、一時借用の代金等、地元で□Cすべきものは完全に決済をする。</p> <p>(3) 工事が終了し現場を引き払う際は、乗り込み時と同時に□Dに挨拶をする。</p> <p>①支払い ②地元関係者 ③修理 ④安全 ⑤賃金 ⑥使用</p>	<p>25</p> <p>A- 3 B- 5 C- 1 D- 2</p>
4	<p>次の文章の□欄に適切な字句を下から選び番号で記入しなさい。</p> <p>(1) 作業場を設営した場合、索道基地、ドラム場、機械集積場等は作業範囲を□A明示し、出入口には責任者名、□B等を立札により明示する。</p> <p>(2) 搬入道路等現場付近の道路には工事名、□C、連絡先等を□Dした看板をたて工事のPRと協力を依頼する。</p> <p>①連絡先 ②区画 ③明記 ④工事業者名 ⑤資材置場</p>	<p>21</p> <p>A- 2 B- 1 C- 4 D- 3</p>
5	<p>次の文章は、送電線建設技術研究会が平成に入ってから取組んだ主な課題について記したものである。□欄に適切な字句を下から選び番号で記入しなさい。</p> <p>1. □Aの徹底強化 2. 教育の充実 3. □Bの高度化・多様化への的確な対応 4. 地域社会との調和と融合 5. □C確保に向けた諸施策の推進 6. 工事の省力化・合理化 7. 週休2日制の導入と定着 8. 工法開発の推進 9. 生産性向上諸方策の推進 10. 職場環境の整備充実 11. 技術技能の継承と教育の充実 12. □Dに伴う諸課題の検討 13. 送電線工事を取り巻く将来的課題の検討</p> <p>①現場品質管理 ②現場安全管理 ③機械工具 ④施工技術 ⑤工事量減少 ⑥工事量増大 ⑦労働力</p>	<p>10</p> <p>A- 2 B- 4 C- 7 D- 5</p>

番号	問題	解答															
6	<p>次の文章の□欄に適切な字句を下から選び番号で記入しなさい。</p> <p>昭和30年頃からの需要急増に対応して、同35年までに約1000kmの□A kv送電線が建設され電線に□B方式が採用された。</p> <p>昭和60年代に入り電源の遠隔地化及び大規模化に対応した安定送電線を確保するため、UHV送電線や低インダクタンス送電線の開発が行われ、前者では平成4年に東京電力の西群馬幹線において□C kv設計送電線が、後者では昭和61年中部電力 500kv設計伊勢幹線において大束径□D (束導体径1600mm) が採用された。</p> <p>①275 ②500 ③1000 ④複導体 ⑤4導体 ⑥6導体</p>	<p>7</p> <p>A- 1 B- 4 C- 3 D- 6</p>															
7	<p>次のA群とB群の項目で関連のあるものを選び、記号(イ)～(ニ)で記入しなさい。</p> <table border="0"> <tr> <td style="text-align: center;">A群</td> <td style="text-align: center;">B群</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(1) 原子力利用による電力供給の長期安定確保</td> <td>(イ) CO₂の回収</td> <td>(1)- □</td> </tr> <tr> <td>(2) コスト低減のための技術</td> <td>(ロ) 原子燃料サイクルの確立</td> <td>(2)- □</td> </tr> <tr> <td>(3) 環境問題への対応</td> <td>(ハ) 太陽光、風力などの自然エネルギー発電</td> <td>(3)- □</td> </tr> <tr> <td>(4) 新エネルギー技術</td> <td>(ニ) 電力設備診断技術、寿命延伸技術等</td> <td>(4)- □</td> </tr> </table>	A群	B群		(1) 原子力利用による電力供給の長期安定確保	(イ) CO ₂ の回収	(1)- □	(2) コスト低減のための技術	(ロ) 原子燃料サイクルの確立	(2)- □	(3) 環境問題への対応	(ハ) 太陽光、風力などの自然エネルギー発電	(3)- □	(4) 新エネルギー技術	(ニ) 電力設備診断技術、寿命延伸技術等	(4)- □	<p>5</p> <p>(1)- □ (2)- □ (3)- □ (4)- □</p>
A群	B群																
(1) 原子力利用による電力供給の長期安定確保	(イ) CO ₂ の回収	(1)- □															
(2) コスト低減のための技術	(ロ) 原子燃料サイクルの確立	(2)- □															
(3) 環境問題への対応	(ハ) 太陽光、風力などの自然エネルギー発電	(3)- □															
(4) 新エネルギー技術	(ニ) 電力設備診断技術、寿命延伸技術等	(4)- □															
8	<p>次の文章は、仕事の教え方の4段階について記述したものである。□欄に第1段階から第4段階までの番号を右から選んで記入しなさい。</p> <table border="0"> <tr> <td>第1段階 □A</td> <td>① 教えた後を見る。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>第2段階 □B</td> <td>② やらせてみる。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>第3段階 □C</td> <td>③ 習う準備をさせる。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>第4段階 □D</td> <td>④ 作業を説明する。</td> <td></td> </tr> </table>	第1段階 □A	① 教えた後を見る。		第2段階 □B	② やらせてみる。		第3段階 □C	③ 習う準備をさせる。		第4段階 □D	④ 作業を説明する。		<p>35 H28出題</p> <p>A- 3 B- 4 C- 2 D- 1</p>			
第1段階 □A	① 教えた後を見る。																
第2段階 □B	② やらせてみる。																
第3段階 □C	③ 習う準備をさせる。																
第4段階 □D	④ 作業を説明する。																
9	<p>次の文章は、作業班長の職務について記述したものである。□欄に適切な字句を下から選び番号で記入しなさい。</p> <p>作業班長は、安全な□Aを定め、作業者を□Bに配置して、作業を□Cするとともに、異常事態に際して迅速で的確な措置ができるよう常に□Dを把握し且つ作業者を訓練しておく。</p> <p>①指揮監督 ②教育指導 ③適正 ④状況 ⑤作業方法</p>	<p>30</p> <p>A- 5 B- 3 C- 1 D- 4</p>															
10	<p>次の文章は、送電線建設技術研究会について記したものである。□欄に適切な字句を下から選び番号で記入しなさい。</p> <p>送研における事業活動は、発足当初より□Aの確保、技能・技術者の育成を活動の基軸に据えながら、高度成長期においては送電線工事量の増大、送電線技術の進歩労働環境の質的向上、現場合理化等又近年の工事量の急減下においては、工事量の短期・長期の□B、技術・技能の継承、□C技術者の確保・□D機械工具の維持等、その時代における送電線工事を取り巻く諸情勢の変化に的確に対応した諸課題を年度事業計画の柱に掲げ、工事の機械化、総合効率化、安全性の確保等に着実な成果を上げてきている。</p> <p>①現場品質 ②現場安全 ③大型 ④小型 ⑤集中化 ⑥平準化 ⑦高所作業</p>	<p>9</p> <p>A- 2 B- 6 C- 7 D- 3</p>															

平成29年度 **作業班長** 試験問題

Ⅲ 施工管理

会社名	受験者氏名
-----	-------

番号	問題	解答
1	<p>一般に稼働率の低下要因について、次の文章の <input type="checkbox"/> 欄に適切な字句を下から選び番号で記入しなさい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <input type="checkbox"/> A , 悪地質の不可抗力的要因 ・ 作業の <input type="checkbox"/> B ・ 材料の入荷待ち ・ 設計変更や指示, 手配のミスによる待機 ・ 災害事故 ・ <input type="checkbox"/> C の病気 ・ <input type="checkbox"/> D の故障 ・ 作業及び賃金に対する不満による休業 ・ 労働争議 <p>①作業者 ②悪天候 ③機械工具 ④段取り待ち ⑤入荷</p>	<p>27</p> <p>A- 2 B- 4 C- 1 D- 3</p>
2	<p>工程管理の手順と内容について記述した次の文章について、適切なものには○を、適切でないものには×をしなさい。</p> <p>(1) 施工の順序, 施工方法などの基本方針を決定する。</p> <p>(2) 作業者, 機械工具, 材料, 資金などの数量, 品目, 所要時期及び輸送などの計画をたてる。</p> <p>(3) 作業実施の指示, 指導, 監督をする。</p> <p>(4) 工事の進み具合は天候, 地形, 地質や作業者の人数, 技能などにより異なるので, 特に計画と実績の検討比較などをする必要はない。</p>	<p>24</p> <p>(1)- ○ (2)- ○ (3)- ○ (4)- ×</p>
3	<p>次の建設機械(1)～(4)を使用する作業のうち、騒音規制法で定める特定建設作業に規制される機械には○を、そうでないものには×をしなさい。</p> <p>(1) さく岩機 (2) ディーゼルハンマ (3) 電動ポンプ (4) トラッククレーン</p>	<p>19</p> <p>(1)- ○ (2)- ○ (3)- × (4)- ×</p>
4	<p>施工管理について、次の文章の <input type="checkbox"/> 欄に適切な字句を下から選び番号で記入しなさい。</p> <p>施工管理とは、<input type="checkbox"/> A 「材料」「施工方法」「機械工具」とこれらのものを整えるために「資金」を必要とするが、これらを使って <input type="checkbox"/> B 「はやく」「安く」しかも <input type="checkbox"/> C に工事を円滑に進めるための計画及び管理を総称したものである。</p> <p>①実施 ②労力 ③安全第一 ④よく</p>	<p>1</p> <p>A- 2 B- 4 C- 3</p>
5	<p>騒音規制法において特定建設業実施の届出をする者はだれか。正しいものには○を、誤っているものには×をしなさい。</p> <p>(1) 発注者(施主) (2) 発注者から直接請負った元請 (3) 騒音を発生する作業を直接行う下請 (4) 騒音を発生する機械所有者のリース会社</p>	<p>18</p> <p>(1)- × (2)- ○ (3)- × (4)- ×</p>

番号	問題	解答
6	<p>次に示す条件のとき、トラクターショベルの1日当たりの積込み作業は、地山の土量で何m³か求めなさい。</p> <p>バケットの平積み容量: 0.3m³</p> <p>バケット係数 = $\frac{\text{実積み容量}}{\text{平積み容量}} = 1.1$ サイクルタイム: 50秒</p> <p>(バケットに山盛りする意味) 一日当たりの作業時間: 5時間</p> <p>土量変化率* = $\frac{\text{ほぐした土量}}{\text{地山の土量}} = 1.2$ 平均作業率: 0.6</p> <p>※: 土質により異なる。地山を掘削した場合、ほぐした土量は地山の土量より必ず増える</p> <p>$0.3 * 1.1 * \frac{1}{1.2} * \frac{60}{50} * 60 * 5 * 0.6 = 59.4 \text{ m}^3/\text{日}$</p>	<p>14 問題赤字箇所変更</p> <p>59.4m³/日</p>
7	<p>施工計画の基本と目標について、次の文章の <input type="checkbox"/> 欄に適切な字句を下から選び番号で記入しなさい。</p> <p>施工計画の目標とするところは、要求された品質や形状のものを、所定の <input type="checkbox"/> A に最小の費用でしかも <input type="checkbox"/> B に施工できるような手段をつくることである。</p> <p>施工計画は、その第一段階であるから十分な <input type="checkbox"/> C により慎重に立案しなければならない。これまでの経験も貴重であるが、常に <input type="checkbox"/> D や、新しい工法、新しい技術を取り入れる心構えが大切である。</p> <p>①安全 ②工期内 ③改良 ④予備調査 ⑤過大</p>	<p>11</p> <p>A- 2 B- 1 C- 4 D- 3</p>
8	<p>共同企業体に関する次の文章の <input type="checkbox"/> 欄に適切な字句を下から選び番号で記入しなさい。</p> <p>建設工事の大型化と共に共同企業体による施工が増えてきており共同企業体方式には年度を通じて存立する <input type="checkbox"/> A と、一建設工事ごとに結成、解散される <input type="checkbox"/> B があり、それぞれの構成員が一体となって施工する <input type="checkbox"/> C と、分担を決めて会社ごとに施工する <input type="checkbox"/> D がある。</p> <p>①A型 ②B型 ③甲型 ④乙型 ⑤建設工事共同企業体 ⑥建設共同企業体</p>	<p>7</p> <p>A- 6 B- 5 C- 3 D- 4</p>
9	<p>施工管理の目的は、適切なQCDSを確保することであるが、QCDSについて次の字句から適切なものを選び番号で記入しなさい。</p> <p>①検討 ②品質 ③安全 ④原価 ⑤準備 ⑥処理 ⑦工期</p>	<p>3 Q- 2 C- 4 D- 7 S- 3</p>
10	<p>次の文章は、産業廃棄物の処理について記述したものである。正しいものには○を、誤っているものには×をしなさい。</p> <p>(1) 産業廃棄物は、排出事業者自らが処理するのが原則である。</p> <p>(2) 産業廃棄物の処理を業者に委託する場合、その業者は、都道府県知事の許可を必要としない。</p> <p>(3) 産業廃棄物処理業者は、他人の廃棄物の収集、運搬又は処分を行うことができる。</p>	<p>22</p> <p>(1)- ○ (2)- ○ (3)- ×</p> <p>許可が必要</p>

平成29年度 作業班長 試験問題

IV 技能編 [基礎工事]

会社名		受験者氏名	
-----	--	-------	--

番号	問題	解答
1	<p>次の文章の <input type="checkbox"/> 欄に適切な字句を下から選び番号で記入しなさい。</p> <p>ガソリン発電機のキャブレターや <input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> などを点検清掃し、<input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> 使用しないときは <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> を抜き取っておく。</p> <p>なお、<input type="checkbox"/> D <input type="checkbox"/> や接地電極の浮き上がりがないかチェックする。</p> <p>①長期間 ②燃料 ③接地線 ④ブレーキ ⑤プラグ ⑥ワイヤ</p>	<p>36</p> <p>A- 5 B- 1 C- 2 D- 3</p>
2	<p>索道工具について、次の文章のうち適切なものには○を、適切でないものには×をしなさい。</p> <p>(1) 搬器の締付けは、グリップの溝に曳索を正しく入れ、グリップボルトを適正なトルクで締付ける。</p> <p>(2) 制限荷重以上の品物も吊れるようにあらかじめ重量を調べ、表示する。</p> <p>(3) 支持器は、さび、泥を落とし、清掃して防錆油を塗布しておく。</p> <p>(4) キャリアのキャレージの運転は、連絡合図を確実にし、相互確認を行う。</p>	<p>35</p> <p>(1)- ○ (2)- × (3)- ○ (4)- ○</p> <p>制限荷重以上の物は吊らない</p>
3	<p>次の文章の <input type="checkbox"/> 欄に適切な字句を下から選び番号で記入しなさい。</p> <p>水中ポンプの取扱いは、移動時に <input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> やホースを引張らないように注意し、<input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> で絶縁を測定するほか、<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> させないようにする。</p> <p>また、<input type="checkbox"/> D <input type="checkbox"/> の掃除を常時行う。</p> <p>①絶縁抵抗測定器 ②キャブタイヤケーブル ③空転 ④電流計 ⑤吸水口</p>	<p>33</p> <p>A- 2 B- 1 C- 3 D- 5</p>
4	<p>次の文章の <input type="checkbox"/> 欄に適切な字句を下から選び番号で記入しなさい。</p> <p>機体重量が3トン未満のミニパワーショベルの運転は <input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> 修了者が行い、始業前の点検整備を確実に実施するとともに <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> を行い、各部の作動状況や摩耗、損傷状況等を点検し <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> があるときは、直ちに補修して取替える。</p> <p>なお、作業終了後、運転席を離れるときは、作業装置を <input type="checkbox"/> D <input type="checkbox"/> に降ろし、ブレーキを掛けキーを外しておく。</p> <p>①技能講習 ②定期点検 ③特別教育 ④異常 ⑤地上 ⑥機体上 ⑦作業主任者</p>	<p>32</p> <p>A- 3 B- 2 C- 4 D- 5</p>
5	<p>次の文章の <input type="checkbox"/> 欄に適切な字句を下から選び番号で記入しなさい。</p> <p>ウエルポイントの間隔は、揚水量及び <input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> によって決定される。</p> <p>なお、1本あたりの <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> 能力は20~40 l/分で、その間隔は <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> である。</p> <p>ウエルポイントの深さは、掘削底面で決まるが、ろ過装置の最高部はいかなる場合でも底面より <input type="checkbox"/> D <input type="checkbox"/> 約0.6~1.0mであることが必要である。</p> <p>①排水 ②透水係数 ③1.0~1.5m ④下方 ⑤上方 ⑥掘削量 ⑦5.0~6.0m</p>	<p>31</p> <p>A- 2 B- 1 C- 3 D- 4</p>

番号	問題	解答
6	<p>整地について、次の文章のうち適切なものには○を、適切でないものには×をしなさい。</p> <p>(1) 切土、盛土面は、できるだけ緩やかな勾配にし、のり面高さが5mを超えるような場合は、犬走りを設ける。</p> <p>(2) 平坦地の整地は、できるだけ地表面を平坦に仕上げ、雑草対策を兼ねてアスファルト仕上げや敷き砂利を行う。</p> <p>(3) 鉄塔敷地を保全するため境界線を明確にし、フェンスや柵を設ける。</p> <p>(4) 排水溝は、通水をよくするため1/10程度の勾配を付ける。</p>	<p>28</p> <p>(1)- × 3m (2)- ○ (3)- ○ (4)- ○</p>
7	<p>次の文章の <input type="checkbox"/> 欄に適切な字句を下から選び番号で記入しなさい。</p> <p>石積みよう壁には空積、練積があり、<input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> の場合、裏込め土が比較的よいときは1.5~3.0mの高さまで設計してよいが <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> を超えないこと。</p> <p>また、<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> で、胴込めコンクリートのみを使用する場合、裏込め土が比較的よいときは <input type="checkbox"/> D <input type="checkbox"/> まで用いてもよいが、5mを超えないようにする。</p> <p>①3m ②空積 ③練積 ④3~5m ⑤5m ⑥5~7m ⑦7m</p>	<p>27</p> <p>A- 2 B- 1 C- 3 D- 4</p>
8	<p>次の文章の <input type="checkbox"/> 欄に適切な字句を下から選び番号で記入しなさい。</p> <p>盛土法面勾配は、現場の地形、<input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/>、気象条件、隣接物件、斜面保護工の種類等を考慮して決められる。</p> <p>なお、盛土法面勾配は、<input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> を標準とするが、盛土高さが1.5m以上は <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> を、土質が悪い場合及び盛土斜面が3m以上になる場合は <input type="checkbox"/> D <input type="checkbox"/> を設けるか勾配を緩くする。</p> <p>①地質 ②1:1.5 ③1:1.2 ④犬走り ⑤側溝 ⑥傾斜</p>	<p>26</p> <p>A- 1 B- 3 C- 2 D- 4</p>
9	<p>水中コンクリート工について、次の文章のうち適切なものには○を、適切でないものには×をしなさい。</p> <p>(1) 細骨材率を大きくすると粘性が上がり分離を抑制できる。</p> <p>(2) コンクリートは、最低温度2℃以下の水中には打設しない。</p> <p>(3) コンクリートは、トレミー管を使用して打設し、管内のコンクリートが常に半分以上満たされている状態で打設するとよい。</p> <p>(4) 打設後、十分硬化して強度が得られるまでポンプを作動し水を動かしてはならない。</p>	<p>24</p> <p>(1)- ○ (2)- ○ (3)- × 1.25倍 (4)- ○</p> <p>コンクリートで満たしておく</p>
10	<p>次の文章の <input type="checkbox"/> 欄に適切な字句を下から選び番号で記入しなさい。</p> <p>鉄塔基礎の鉄筋工において、設計 <input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> に示されていない継手を、加工の都合でやむを得ず設けるときは、断面の <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> を低下させないためと <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> の時の支障を避けるためそれらの継手が <input type="checkbox"/> D <input type="checkbox"/> することのないようにする。</p> <p>①コンクリート打ち ②配筋図 ③強度 ④一断面に集中</p>	<p>18</p> <p>A- 2 B- 3 C- 1 D- 4</p>

平成29年度 作業班長 試験問題

V 技能編 [組立工事]

会社名		受験者氏名	
-----	--	-------	--

番号	問題	解答
1	<p>次の文章の [] 欄に適切な字句を下から選び番号で記入しなさい。</p> <p>ワイヤロープは、摩耗や素線切れ、 [A] などの有無を点検し、ワイヤピッチの長いものや [B] ものは取り替える。またワイヤドラムは [C] しないよう運搬し、無理な荷重をかけたり、物と接触しないよう注意する。</p> <p>①キック ②短い ③横積み ④縦積み ⑤安全率 ⑥廃棄処分 ⑦点検</p>	<p>24</p> <p>A- 1 B- 2 C- 3</p>
2	<p>鋼管ブームについて、次の文章のうち適切なものには○を、適切でないものには×をしなさい。</p> <p>(1) カラーチェック及び目視点検により始業時点検をする。 (2) 接合部のボルトは所定のものが取付られているか、十分締め付けられているか張力計で確認する。 (3) 台棒と起伏ワイヤのなす角度は、できるだけ60°以上にする。 (4) 支線は、頂部アイ金具からとり、中間からとらないこと。</p>	<p>21 H28出題</p> <p>(1)- ○ (2)- × (3)- × (4)- ○</p> <p>2.トルクレンチで確認 3.15°以上にする</p>
3	<p>次の文章の [] 欄に適切な字句を下から選び番号で記入しなさい。</p> <p>キーロック方式安全帯ロープとは、 [A] に装着した [B] 本体にあらかじめ鉄塔上に [C] した安全ロープを次々と連結して [D] 及び作業を行う方式で、常に [E] 以上の安全帯ロープで身体を保持するものである。</p> <p>①1本 ②配置 ③移動 ④安全帯 ⑤キーロック ⑥無胴綱 ⑦2本</p>	<p>18</p> <p>A- 4 B- 5 C- 2 D- 3 E- 1</p>
4	<p>次の文章の [] 欄に適切な字句を下から選び番号で記入しなさい。</p> <p>鋼管コンクリートを基地充てんする場合、鋼管の [A] をよく清掃し、 [B] に建てコンクリートを練り混ぜるが、 [C] 以上経過したコンクリートは使用しない。</p> <p>なお、管端上面は、コンクリート充てん後、セメントペーストで管端一杯まで充てんし [D] 以上養生後、フランジ面と同一平面になるよう仕上げる。</p> <p>①垂直 ②4時間 ③40分 ④内部 ⑤表面 ⑥斜め ⑦ジョイント箇所</p>	<p>16</p> <p>A- 4 B- 1 C- 3 D- 2</p>
5	<p>ボルト締め付けについて、次の文章の [] 欄に適切な字句を下から選び番号で記入しなさい。</p> <p>ボルトに油を塗布して締め付けると摩擦力が [A] し、作業が容易になるが、塗布量が [B] とごみ等が付着し将来亜鉛メッキに悪影響を与えるので適量を塗布する。</p> <p>また、ボルトの締め付け力が [C] すると部材の微振動でナットが緩み、ボルトに曲げ応力が加わることがあり、逆に締め付け力が [D] するとボルトのせん断強度面から好ましくないので適正トルクで本締めする。</p> <p>①低下 ②多い ③不足 ④超過 ⑤増加 ⑥少ない</p>	<p>14</p> <p>A- 1 B- 2 C- 3 D- 4</p>

番号	問題	解答
6	<p>次の文章の [] 欄に適切な字句を下から選び番号で記入しなさい。</p> <p>移動式クレーンを据付る場合、 [A] の張出し状況を確認するとともに、組立高さに応じて [B] 長さだけブームを伸ばす。</p> <p>吊り上げ中の鉄塔材は [C] の両下端を [D] で支え、鉄塔部材に当たらないよう吊り上げる。</p> <p>①斜材 ②アウトリガー ③ロープ ④必要な ⑤主材 ⑥可能な</p>	<p>12</p> <p>A- 2 B- 4 C- 1 D- 3</p>
7	<p>クライミングクレーンについて、次の文章の [] 欄に適切な字句を下から選び番号で記入しなさい。</p> <p>クライミングクレーンのマストせり上げ作業手順は、マストガイドを [A] に取付た後 [B] を取付る。</p> <p>作業時のオーバハング高さは [C] とし、クライミング時の最大高さは [D] 以下とし、水平支持間隔は10～24m以下とする。</p> <p>①水平支線 ②鉄塔 ③5.3～16m ④24m ⑤地支線 ⑥クレーン ⑦鉄塔重量</p>	<p>8</p> <p>A- 2 B- 1 C- 3 D- 4</p>
8	<p>クライミングクレーンを設置する場合について記述した、次の文章について、適切なものには○を、適切でないものには×をしなさい。</p> <p>(1) 吊り上げ荷重が0.5トン以上3.0トン未満の場合は、設置報告書をあらかじめ所轄の労働基準監督署へ提出する。 (2) 吊り上げ荷重が3.0トン以上になるときは、鉄塔の組立を開始する30日前までに提出し、落成検査を受ける必要がある。 (3) 落成検査を受けるために提出する書類は、クレーン設置届、明細書、組立図、強度計算書、基礎の形状などがある。</p>	<p>6</p> <p>(1)- ○ (2)- × (3)- ○</p> <p>2.設置のための工事</p>
9	<p>次の文章の [] 欄に適切な字句を下から選び番号で記入しなさい。</p> <p>台棒工法による鉄塔組立の場合、一般に塔体内で地組を行うが、吊り上げ部材の [A] を考慮して、支柱材1本組と [B] 組のほか [C] 組方式などがある。</p> <p>地組方式によって [D] 方法が異なるが、玉掛け用には玉掛けワイヤや [E] が使用される。</p> <p>①斜材 ②総質量 ③面 ④ベルトスリング ⑤玉掛け ⑥ナイロンロープ ⑦箱組み</p>	<p>4</p> <p>A- 2 B- 1 C- 3 D- 5 E- 4</p>
10	<p>組立工について、次の文章のうち適切なものには○を、適切でないものには×をしなさい。</p> <p>(1) 組立準備に際して各部材及び組立ブロックごとの質量を調査し、吊り上げ荷重を想定する。 (2) 法規制を受ける作業については、有資格者を配置する。 (3) 台棒工法は、支柱材の一脚に鋼製台棒を取付、部材を吊上げる工法で、支線の設置が必要となり、根開きが15m以上の鉄塔に適している。 (4) 組立前には、据付寸法・各脚のレベルを測定し、規定値以内に納まっているかを確認するとともにコンクリートの養生期間を経てから組立てる。</p>	<p>1</p> <p>(1)- ○ (2)- ○ (3)- × (4)- ○</p> <p>3.15m以下の鉄塔に適している</p>

平成29年度 作業班長 試験問題

VI 技能編 [架線工事]

会社名	受験者氏名
-----	-------

番号	問題	解答
1	<p>次の文章は延線時に使用する金車について記述したものである。 <input type="checkbox"/> 欄に適切な字句を下から選び番号で記入しなさい。</p> <p>一般に電線を延線するのに単導体ではウレタン張り1輪アルミ金車、多導体ではウレタン張り1輪アルミ金車又は<input type="checkbox"/> A 金車、OPGWでは<input type="checkbox"/> B 金車又は吊り金車、また多導体のワイヤ延線には<input type="checkbox"/> C 金車、重角度鉄塔やOPGWの導入用として<input type="checkbox"/> D 金車を使用している。</p> <p>①クローラ ②ウレタン張り3輪アルミ ③サークル ④細溝 ⑤3輪プレス製</p>	35
2	<p>金車の組合せによるワイヤ張力について下図の<input type="checkbox"/> 欄に下の数字から選び番号で記入しなさい。</p> <p>① 1.0(t) ② 1.2(t) ③ 1.4(t) ④ 1.5(t) ⑤ 1.7(t) ⑥ 2.0(t) ⑦ 4.0(t) ⑧ 6.0(t) ⑨ 8.0(t) ⑩ 6.2(t)</p>	H28年代人試験
3	<p>延線車について、次の文章のうち適切なものには○を、適切でないものには×をしなさい。</p> <p>(1) 一般のシューチェン式延線車の連続定格延線速度は、30~40m/秒のものが多い。 (2) 現在では、プロテクタ通過型の延線車も開発され、大型の架線工事に活躍している (3) TACS R610mm²の電線を延線するのに延線距離、延線張力によってはキャブスタ ン径 1.2mのシューチェン式延線車を使用してもよい。</p>	33
4	<p>次の文章のうち適切なものには○を、適切でないものには×をしなさい。</p> <p>直接法による電線弛度（ディップ）の観測にあたり、鉄塔に取り付ける弛度定規は、あらかじめ鉄塔支柱材に印した弛度マーキングに対して、</p> <p>(1) 弛度定規の上端を合わせて水平に取り付ける。 (2) 弛度定規の下端を合わせて水平に取り付ける。 (3) 弛度定規の上下間の中心線を合わせて水平に取り付ける。</p>	22

番号	問題	解答
5	<p>次の文章のうち適切なものには○を、適切でないものには×をしなさい。</p> <p>がいし装置の運搬において各鉄塔へ基別配置をする場合の注意事項として、</p> <p>(1) がいし本体の運搬中の破損防止のため、目的地まで梱包の状態にしておく。 (2) がいし及び金具類は、運搬効率をよくするため、他の機械工具類と混載する。 (3) 小さな金具類は、途中での紛失を防止するため、取扱い上問題のあるものを除いてはそれらと組み合わせる部材に取付けて荷造りする。</p>	19
6	<p>次の文章の<input type="checkbox"/> 欄に適切な字句を下から選び番号で記入しなさい。</p> <p>ジョイントプロテクタは、水平角、金車通過回数、延線張力、電線の種類と<input type="checkbox"/> A などによる金車抱き角の<input type="checkbox"/> B 以下で使用しなければならない。</p> <p>所定区間の延線を終了した電線を仮上げするには、鉄塔中心に対して左右の電線を<input type="checkbox"/> C に仮上げて、鉄塔に<input type="checkbox"/> D が加わらないようにする。</p> <p>①標準仕様寸法 ②安全率 ③同時 ④許容限度 ⑤ねじり力 ⑥太さ ⑦交互 ⑧引留め張力</p>	17.18
7	<p>OPGWの延線を行うに当たって、次の文章のうち適切なものには○を、適切でないものには×をしなさい。</p> <p>(1) 延線クランプは、OPGWの光ファイバ収納部を防水処理してから圧縮する。 (2) 防水処理は、天候がよければ自己融着テープだけでよい。 (3) OPGWの回転を防止するため、引き抜きの場合はランニングボード、風車の場合は、先導搬器を使用する。</p>	13
8	<p>架線金車の使用にあたって、次の文章のうち適切なものには○を、適切でないものには×をしなさい。</p> <p>(1) 架線金車の取付位置は、原則として鉄塔腕金における部材の交点とする。 (2) 水平角のある鉄塔や電線の浮き上がりの恐れのある箇所を使用する金車は「立金車」が有効である。 (3) 電線延線時に他線路又は隣接の充電回線の誘導が入る場所に使用する金車には、それが絶縁性のものであるときは、接地金車やローラを使用して確実に接地する。</p>	8
9	<p>次の文章のうち適切なものには○を、適切でないものには×をしなさい。</p> <p>延線の準備作業において、ドラム場における機械の配置と据付にあたり、延線車とドラムの間隔（L）は、</p> <p>(1) できるだけ間隔を開けないようにする。 (2) 1~2m程度離す。 (3) 10m程度離す。</p>	2
10	<p>次の文章の<input type="checkbox"/> 欄に適切な字句を下から選び番号で記入しなさい。</p> <p>延線準備作業中、エンジン場において、<input type="checkbox"/> A のリールにワイヤロープを巻き付ける場合Sよりのワイヤでは、その一層目を<input type="checkbox"/> B に、Zよりのワイヤではその<input type="checkbox"/> C にすると巻き乱れを起こしにくい。</p> <p>①Z巻き ②リールワインダ ③S巻き ④逆 ⑤延線車 ⑥エンジン</p>	4

平成29年度
作業班長 試験問題 解答

I 一般教養編

- 1 A-3 B-2 C-4 D-1
 2 (1)○ (2)× (3)○ (4)○ (5)○ (6)×
 3 A-3 B-5 C-1 D-2
 4 A-2 B-1 C-4 D-3
 5 A-2 B-4 C-7 D-5
 6 A-1 B-4 C-3 D-6
 7 (1)口 (2)ニ (3)イ (4)ハ
 8 A-3 B-4 C-2 D-1
 9 A-5 B-3 C-1 D-4
 10 A-2 B-6 C-7 D-3

IV 技能編〔基礎工事〕

- 1 A-5 B-1 C-2 D-3
 2 (1)-○ (2)-× (3)-○ (4)-○
 3 A-2 B-1 C-3 D-5
 4 A-3 B-2 C-4 D-5
 5 A-2 B-1 C-3 D-4
 6 (1)-× (2)-○ (3)-○ (4)-○
 7 A-2 B-1 C-3 D-4
 8 A-1 B-3 C-2 D-4
 9 (1)-○ (2)-○ (3)-× (4)-○
 10 A-2 B-3 C-1 D-4

II 安全衛生管理編

- 1 (1)-○ (2)-× (3)-× (4)-×
 2 (1)-× (2)-○ (3)-× (4)-○
 3 A-2 B-3 C-1 D-4
 4 A-3 B-2 C-4 D-1
 5 A-5 B-3 C-2 D-6 E-1 F-4
 6 (1)-○ (2)-○ (3)-× (4)-×
 7 (1)-× (2)-○ (3)-× (4)-○
 8 A-3 B-1 C-5 D-4 (順位を問わない)
 9 (1)-× (2)-○ (3)-× (4)-×
 10 (1)-× (2)-× (3)-○

V 技能編〔組立工事〕

- 1 A-1 B-2 C-3
 2 (1)-○ (2)-× (3)-× (4)-○
 3 A-4 B-5 C-2 D-3 E-1
 4 A-4 B-1 C-3 D-2
 5 A-1 B-2 C-3 D-4
 6 A-2 B-4 C-1 D-3
 7 A-2 B-1 C-3 D-4
 8 (1)-○ (2)-× (3)-○
 9 A-2 B-1 C-3 D-5 E-4
 10 (1)-○ (2)-○ (3)-× (4)-○

III 施工管理編

- 1 A-2 B-4 C-1 D-3
 2 (1)-○ (2)-○ (3)-○ (4)-×
 3 (1)-○ (2)-○ (3)-× (4)-×
 4 A-2 B-4 C-3
 5 (1)-× (2)-○ (3)-× (4)-×
 6 計算問題 $59.4\text{m}^3/\text{日}$
 7 A-2 B-1 C-4 D-3
 8 A-6 B-5 C-3 D-4
 9 Q-2 C-4 D-7 S-3
 10 (1)-○ (2)-○ (3)-×

VI 技能編〔架線工事〕

- 1 A-2 B-4 C-5 D-1
 2 A-8 B-4 C-6 D-2
 3 (1)-× (2)-○ (3)-○
 4 (1)-○ (2)-× (3)-×
 5 (1)-○ (2)-× (3)-○
 6 A-6 B-4 C-3 D-5
 7 (1)-○ (2)-× (3)-○
 8 (1)-○ (2)-× (3)-○
 9 (1)-× (2)-× (3)-○
 10 A-2 B-1 C-4

試 験 採 点 配 分 表

出題 1問中 の問題 数	正解答数と採点配分						合 計	備 考
	1	2	3	4	5	6		
1	10						10	1問中の問題順位に関係なく、 正解答の数により左表のとおり 採点する。 (例) 3問中 1問正解 ……………4 2問正解 (4+3) ………7 4問中 2問正解 (3+3) ………6 3問正解 (3+3+2) ……8
2	5	5					10	
3	4	3	3				10	
4	3	3	2	2			10	
5	2	2	2	2	2		10	
6	2	2	2	2	1	1	10	